

傑作新聞

9月号

日曜日

■ 発行所：マスターピース・グループ(株)
 ■ 発行者：人事総務部 佐藤 大輔
 ■ 連絡先：0120-814455

これもアウトソーシング!?

—海外OS最前線—

「ファッション業界の

アウトソーシングサービス」

今月の「これもアウトソーシングが!?」は、ITから視線を変えてファッション業界の事例を紹介。

服飾の世界では、従来はヨーロッパやアメリカでデザインされたものがインドや中国で生産されるのが主流であったが、現在では生産過程だけでなく、デザイン過程も生産現地にアウトソーシングしてしまう光景が見られるようになってきた。

例えばインドへ。国立服飾技術学校を卒業したモハメッド・ノマン氏(23)は40人のデザイナーたちと共にバンガロールにあるアトリエで働いているが、彼はインドに居ながらにして欧米のリーバイスやジョンパレーヤーズ、ドゥッカイズといった有名ブランドのデザインを手がけている。

ヨーロッパに400ものアウトレット店を持つフランスのファッション企業「Orsay」も最近ノマン氏の働いているアトリエに服飾デザインをアウトソースする契約を結んだ。

また、以前デザイナーとして勤務していたパリテイ・パリス(35)は、バンガロールに新たにアトリエを開き、既にH&MやESPRiitといった有名ブランドを取り扱っている。

なぜインドへのデザインや服飾関係のアウトソースが進んでいるのか。最大の利点はそのコストの低さだ。イギリスでアトリエを運営するには、インドの7倍から15倍ものコストがかかってしまうのだ。また、インドは元々、織物、衣類製品、パターン、文化の長い歴史があり、技術的にも人的にも資源が豊富だ。もちろん、デザインだけでなく、生産まで低コストで行うことができる。

さらにインドへのアウトソーシングは、IT先進国ならではのメリットもある。REACH technologyというBPOサービス企業ではハイテク技術を用い、使用する生地の無駄を最小限にするように計算する。また、コンピュータで型紙の作成、生地を取り方を操作するので、従来30時間かかっていた作業時間を4時間に短縮させ、作業ミスも低下させたという。コンピュータによるデザインの見直し、素材・パターンの開発・操作は、先進国ではかなりのコストがかかっていたが、インドでは能力の高い人材が溢れ、その人件費も安い。

今は一部のブランドだけかもしれないが、今後ファッション業界全体でアウトソースが当たり前になるときが来るかもしれない。



記事元:

(<http://news.sawf.org/Fashion/9010.aspx>)

青小事情

「タイのジュエリー産業」

日本で流通している貴石(ルビー・サファイヤ・エメラルド)のうち以上がタイで加工されているということをご存知ですか? タイの東部・西部の山間部は古くから、ルビーやサファイヤの産地として知られ、宝石の加工には長い歴史を持つていますが、タイ人持ち前の手先の器用さから来る優秀なカット・研磨技術や洗練されたデザインセンスが世界的に認められ、今では、世界中から集まった原石がタイで加工されて、また世界へ出て行くという、宝石・宝飾品産業の一大集積地となっています。また、貴石や半貴石だけでなく、カラーストーンや、ゴールド・シルバー・プラチナジュエリー、ビーズ製品などの卸売市場も発達しています。

MPGバンコクコンタクトセンター近隣には、宝石・宝飾品の卸兼小売店が軒を連ねる特徴のある通りの通りがあり、タイで取り扱われているほぼすべてのジュエリーが揃います。

「シルバード」ならチャルンクルン通りとスラウオン通り、「ジュエムストーン」ならマヘーサック通り、「ダイヤモンド」ならシリロム通り、「ゴールド」ならヤオワラート通り(中華街)へ。チャルンクルン通りは、高架鉄道 BTS サパーンタークシン駅から MPGバンコクコンタクトセンターの直前を北上し、そのままヤオワラート通りにつながる通りで、スラウオン・シリロム、マヘーサックの各通りもセンターから徒歩圏内です。

これらの店舗は、平日ならいつでも訪れることができますが、すべてを1ヶ所で見たいなら、年2回開かれていた「バンコク宝石・宝飾品フェア」がお勧め。次回(9月15日(火)〜19日(土))にバンコク郊外の国際展示場インパクト・エキシビジョンセンターで開催され、世界約35ヶ国以上のジュエリー関連企業1200団体が出展予定とか。観光や食だけではないタイの魅力が味わってみませんか?

■文責:バンコクセンターノ

尾崎

マスターピースのお仕事紹介

「データエントリー業務」

今回はデータエントリーセンターを利用した入力業務サービスをご紹介します。と思います。

マスターピース・グループのデータエントリーセンターは、中国・大連において現在、500人体制で業務を行っており、1年以上日本語入力研修を受けた中国人オペレーターと日本人管理者の組み合わせで、日本と同等以上の品質を保ちながら低コストでのサービスを提供しています。

入会申込書やアンケート用紙の入力はもちろんのこと、コールセンター業務と組み合わせ、入力作業で発見した不備を確認のお電話まで代行するなど、サービスは非常に多岐に渡っています。スピードも自慢で、商品の注文用紙を受領してから12分以内に入力し納品するお仕事も。

お客様の業務拡大をお手伝い出来るサービスの一つとなっております。

■文責:コンタクトセンター

事業部

中国アウトソーシング事情

中国国内発! MPGが中国のアウトソーシング関連NEWSを毎日発信しています!

《8月の主なNEWS》

2009/8/11

アウトソーシングサービス; 上半期で新規従業者が30万人、そのうち8割は大学生

2009/8/24

国内初の3Gコールセンターデビュー

2009/8/28

中国のBPO業界は市況に反して上昇

●中国アウトソーシング事情 (<http://www.m-piece.com.cn/>)

編集後記

発行担当佐藤です。いつも愛読いただき誠にありがとうございます。

8月末末になり、この数日で急に寒くなりましたね。学生時代はこの数日で宿題を仕上げた夏の終わりを嫌というほど実感してしまいましたが、社外報の担当となり、月末を意識する日々を送っております。

風邪が流行っているようです。皆様、お体にはくれぐれお気を付け下さいませ。